

クラウドファンディングで、オデーサ市の保育園に遊具が設置されました！ ～爆風で被害を受けた保育園の修復が進み、60人の園児が滑り台やシーソーで遊んでいます～

横浜市は1965年から、オデーサ市と姉妹都市交流を続けており、2022年のロシアの侵略開始により危機に直面したオデーサ市に対して、防寒着や移動式浄水装置の提供など、いち早く支援を行ってきました。

2023年6月に、ロシアの攻撃によってオデーサ市歴史地区内の第141保育園が被害を受け、本市に建物修復等の支援の相談が寄せられたことを発端に、横浜市と国連開発計画（UNDP）は、2024年7月にウクライナ支援における連携を合意し、オデーサ市第141保育園の復旧支援に取り組んできました。

この一環で2025年8～9月に実施した、クラウドファンディングでは294人の支援者の皆様から目標額を上回る3,365,000円もの（目標金額：3,000,000円）ご支援をいただきました。

ご支援により、2026年4月上旬に園庭に滑り台、シーソー、砂場、子ども用ベンチ等の遊具の設置が完了し、現在、約60人の園児が元気に遊んでいます。

横浜市は、今後も国際機関や企業、市民の皆様とともに姉妹都市オデーサ市に寄り添い続けます。

1 クラウドファンディングによって設置された遊具について

遊具はすべて、保育園の職員や保護者とともに選定されました。

- ・複合遊具 3基
- ・子ども用テーブル・ベンチセット 5組
- ・バランススイング（遊具）3基
- ・ハンドル付き回転遊具 3基
- ・砂場（カバー付き）5面基
- ・子ども用ジープ遊具 3基
- ・ボート型ベンチ（テーブル付き）3基
- ・その他子ども用ベッド、椅子、棚など園内備品

2 オデーサ市第141保育園からのメッセージ

いただいた感謝のメッセージの一部をご紹介します。

子どもたちのために、安全で楽しい空間を整えてくださったことに、心より感謝申し上げます。

この場所は単なる遊び場ではなく、温かさに満ちた空間であり、優しさと信頼を育む場となりました。皆さまからの思いやりは確かに現地へと届いています。



第141保育園
オリハ・ボフダノワ園長

裏面あり



3 現在のオデーサ市第 141 保育園の園庭の様子



【参考 1】国連開発計画（UNDP）とは

UNDPは、1966年に発足した、貧困の根絶や不平等の是正、持続可能な開発を促進する国連の主要な開発支援機関です。人々や国々の能力を育てる活動を、各国政府、国連機関、非政府組織（NGO）、民間企業など様々なアクターと協力しながら、約170の国・地域で行っています。

【参考 2】UNDPと連携したクラウドファンディングについて

(1) 寄附募集期間：令和7年8月5日～9月30日

(2) 支援者数：294人

(3) 支援総額：**336万5千円**（目標金額：300万円）

詳細については、以下の記者発表資料よりご確認ください。

令和7年10月15日発表「国連開発計画（UNDP）と連携したクラウドファンディングが目標達成！」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kokusai/2025/1015ukrainecf.html>

お問合せ先

（UNDPの連携全般、横浜市によるオデーサ市への現地人道支援について）

横浜市政策経営・国際戦略局グローバル都市戦略課担当課長 横内 Tel 045-671-4396

（UNDPによるウクライナ支援、オデーサ市第141保育園の復旧工事について）

UNDP駐日代表事務所パートナーシップアドバイザー 二瓶 Tel 03-5467-4751



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

